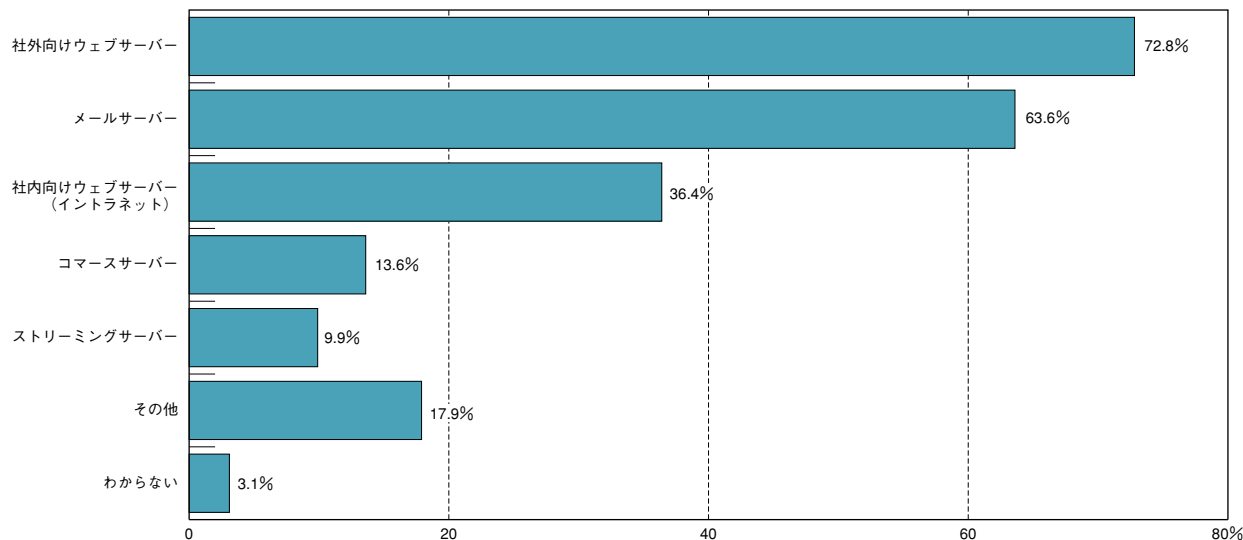


ハウジングとサーバーの種類

ハウジングでもウェブサーバー用途が主流

資料3-3-12 ハウジングで管理・運用しているサーバーの種類 N=162

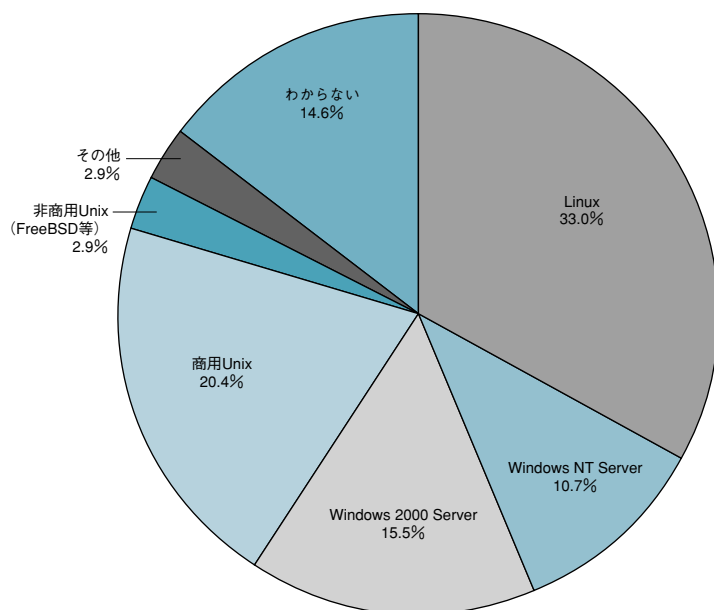


©Access Media/impress,2003

ハウジングで運用しているサーバーでは、72.8%が社外向けウェブサーバーとして利用されており、次いでメールサーバーが63.6%となる。いずれも社外との通信が主となる用途であり、社外に設置するのに向けたサービスである。

ハウジングのメールサーバーの33%がLinuxを利用

資料3-3-13 ハウジングで管理・運用しているメールサーバーの主なOS N=103



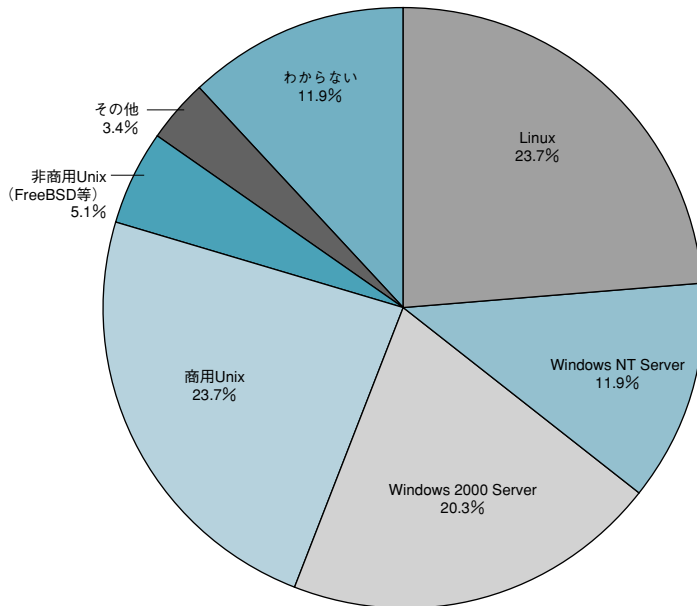
©Access Media/impress,2003

メールサーバーのOSはLinuxが首位で企業でのLinux利用が拡大していることを裏付けている。2位以下のWindows系OS2つと商用Unixの3種類のOSの差はあまり大きくなく、ほぼ均等に市場を分け合っている。

ハウジングとサーバーの種類

イントラ向けウェブサーバーではLinuxと商用Unixが伯仲

資料3-3-14 ハウジングで管理・運用している社内向けウェブ（イントラネット）サーバーの主なOS N=59

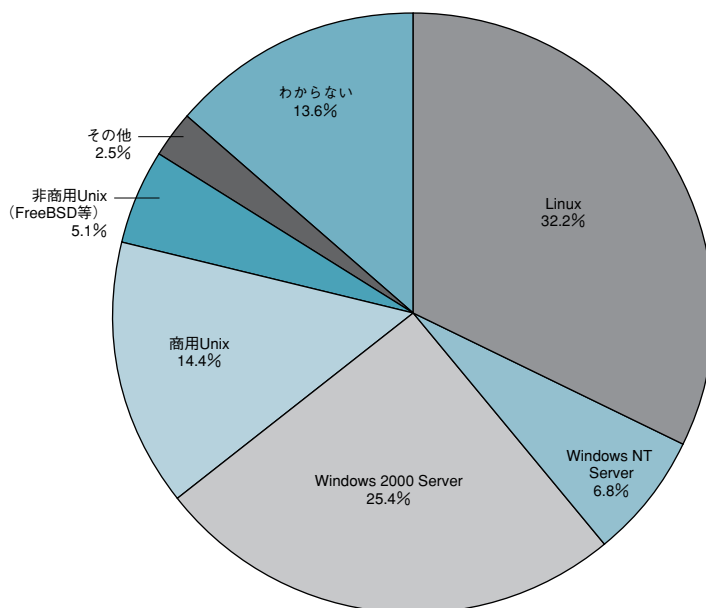


©Access Media/impress,2003

ハウジングで運用されているイントラネット向けウェブサーバーOSは、Linuxと商用Unixが23.7%で並ぶ。NTと2000を合計したWindowsサーバーは32.2%で首位となるが、サポート切れが問題視されたNT Serverがまだ多く残っている実態もうかがえる。

社外向けウェブサーバーでは商用Unixの比率が低下

資料3-3-15 ハウジングで管理・運用している社外向けウェブサーバーの主なOS N=118



©Access Media/impress,2003

ハウジングで運用される社外向けウェブサーバーでは、Linuxが32.2%で首位。次いでWindows 2000 Serverサーバーが続く。イントラネット向けに比べてNT Serverの比率は低い。一方、商用Unixの比率も14.4%とやや低い。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp